

〔第一項〕

幼稚園から來る子供は技能科に於てたしかに勝れて居ります。それから團體生活に慣れて居るの  
で幼稚園を経て來る外に子供の先導となつてよい  
模範を示す様な傾向があります。それから談話が  
大變に上手で、自由に自分の思ふ所を發表します。  
また自體が概して健全であつて運動なども先に立  
つてする様です。數の觀念も算<sup>か</sup>へ方もたしかに巧  
です、其外色彩の觀念名稱等も明瞭であります。之  
は我附屬豊明幼稚園に於て、十二色のチョーク并  
に色鉛筆をつかはせて隨意畫をかゝせたり、最上  
の組に至つては水彩畫や毛筆畫の練習までもさせ  
てある結果であらうと思はれます。其他凡べて精  
神の作用が敏活正確であります。此等の長所は入

日本女子大學校附屬  
豊明小學校主事文學士

河野清丸

學當時にはげしくあらはれます。しかし學期の進  
み學年の進むに従つて次第に幼稚園を経て來たる  
生徒との差異がなくなつて、二學年の末にもなる  
と表面上は殆ど其區別がつかなくなり、けれ  
ども身體上にも精神上にも其微細な點に至つては  
たしかに幼稚園にはいらぬものよりも勝れて居  
るべき筈であります。もし精神的の顯微鏡があつ  
て之を檢査したならば、明に其長所を見出し得る  
に違ひない。しかし單なる觀察のみでは幼稚園の  
好影響が永久に有るかどうかといふ事は俄に確言  
する事は出來ない、これは實驗研究を要する問題  
であります。之は私の學校ではまだやつて居ない  
が、他に二三、十數年に亘つて之を研究して居る  
ものもあるが、特に報告する程の成績を認めない

といふ事でありませぬ。しかし大體に於ては學業の成績に於ても身體の發達に於ても、訓練の上に於ても勝る處があるのは確であるといふ事でありませぬ。之は京都の豊園幼稚園に於て十數年來研究した結果について、一昨年聞き得た處で御座います。

亞米利加に於てもスタンレーホルルの如きは幼稚園の好影響は終生繼續するといふ斷案を下して居りますが之は精密な科學研究の結果ですから十分に信を措くに足るでせう。十數年前までは幼稚園の效果といふ事は非常な問題になつて、歐米の諸大學の間に於ても議論が一致して居ませんでした。然し近頃は幼稚園の保育法がよほど研究せられた結果、その効果が大に認められるやうになつた。私は幼稚園を有害なりなど、云ふのは幼稚園そのものがわるいのではなくて、たゞその保育法がわるいのであらうと思ひます。

もし幼稚園當事者にして、子供を保育するといふのは所謂おとなしくする事であつて、おとなし

いといふのが心身の自由を束縛して箱詰めにする事を意味するならばそれは有害である、換言せば兒童保育の目的を誤り、従つて誤れる方法を施したならば勿論有害であります。つまり誤つた理想をたて、誤つた手段で之を實現しやうとする時に幼稚園教育は有害なので、幼稚園自身が悪いのでは決してありません。幼稚園をして有効ならしめん爲めには之を家庭の延長と見ればよい。家庭に於ては幼兒は大抵之を放任せられて居るのであるから、勿論弊害もあるが、且放任に伴ふ唯一の賜として自發的獨立的に舉動するといふ長所を供へるやうになる、然るに誤れる保育を行ふところの幼稚園になると、あまりに干渉束縛に失する傾きがあるやうです、家庭に於て自發的に行ひ來れるその長所までも没却してしまふといふやうな感じが無いでもない、即ち一より十まで命令をまつて動かすといふ風になる、弊害に陥ります。故に幼稚園に於ては大に自發的獨立的的精神を助長するや

うに保育してやらなければならぬと思ひます、此點を第一に考へて然る後に計畫的に保育を施す(規則づくめと云ふのとは違ふ)やうにするがよい。即ち獨立心を養成せしめるにはどうすればよいかといふやうな計畫をたて、やるやうにしたならば、たしかに幼稚園は家庭に勝る事は明である。要するに自發心と獨立心を害しない範圍に於て、十分に注意し指導するといふのが幼稚園の長所であり任務であり家庭に勝れる點であります。近頃は幼稚園が自由主義を尊ぶやうになつて、その自由主義の根本目的である獨立獨行心を養成するやうにつとめてゐる事は誠に喜ばしい現象であります。要するに幼稚園は家庭の延長であつて、家庭に於ける長所を十分に發揮すると同時にその短所を補うて行くやうにつとむべきであり、またつとめつゝあるのだから、幼稚園の効果は疑のないものである。而してその保姆は現在の處不完全にもせよ一種の専門家であるから、一般家庭の母親よ

りば教育法に熟練して居るといはなければならぬ、殊に在園中幼児は家庭より規則正しく取扱はれ間食などをしない一事を見ても幼稚園の効果は争はれないものである。それから衆兒童と其目的に遊戯し作業する間に、自然と權利義務の觀念を得て、人の物我が物といふ考も出來て來る、一言に云へば正義の念を養ひ、したがつて我が儘の心を押へるといふやうな訓育上の効果ある事は争はれない事である。それから幼稚園で課して居るお伽噺の如きは小學校に於ける修身科、地理、歴史理科をかねたほどの効果のあるものであります。之れによつて智徳を磨く事は決して少くありません。

以上述べた事をつめて云へば、幼稚園から來る子供は大體に於て結果がよろしいといふ事と、またそれはよくなければならないといふ事になります、私も大學に居た時分は幼稚園の効果を疑つて居た一人でありましたが、五年間直接幼稚園小

學校の教育に接して見て、即ち五年間の經驗によつて幼稚園の効果を確信したのであります。

### 〔第二項〕

近頃は自由主義が大變に力説せられて居るが此自由主義を誤解しないやうにしてもらひたいと思つて居ります。之については拙著モンテッソリーの教育真髓第五講を讀んでおもらひしたいのですが、大意を云うて見ると

教育主義としての自由は相對的即ち無干渉ではなくて其長所を伸ばす爲めの自由であつてほしい。自由の程度に絶體的自由と相對的自由とがある。絶體的自由といふと無束縛無輔導（無干渉）であつて教育せぬといふのと同じ事になる。相對的自由といふのは制限的自由であつて抑へるべきを抑へ。伸ばすべきを伸ばすのであつて控へ目な自由である。此控へ目な自由即制限的自由こそ教育の主義となるのであると云ふ事になります。しかし之を誤つて抑ふべからざ

るを抑へるやうな事のないやうに注意すべきはこゝに更めて云ふまでもない事であります。

### 〔第三項〕

幼稚園の最上級新に小學校に入らんとする子供に對してはよほど規則正しく取扱つてもらひたいと思ひます。即ち始業の合圖と比較的嚴重にするやうにしたりまた保育室の出入は整列してさせるといふやうな習慣をつけたいものと思ひます。それから保姆に親しむのはよいが狎れさせる事のないやうに注意しておもらひしたいと思つて居ります。私の學校の附屬幼稚園に於ては最上級は小學校的色彩を帯びしむるやうに、小學校の最下級は幼稚園を参照するといふ風にして双方から相近づいて聯絡をはかつて居ります。

序に文字について一寸申したいのですが、幼稚園の最上級になりますと、子供は非常に文字を知りたがるものです。世間の保姆は文字を教へる事を罪惡かのやうに考へて居るやうですが、進んで

習はうとする慾望をもつて居るものを押さへる事はない、園児は自己の姓名を記し得るといふ事に非常に愉快を感じるのであります。また實物とは全く類似のない處の記號を以て其實物をあらはし得る處の文字そのものに非常な好奇心を感じるのであります。此好奇心を満足せしめんが爲めに文字を愛好するのであつて之は自然の人情であります。その慾たるや自發的のものでありますから之を満足せしめた處で少しも有害とは認められないのみならず、此の慾望の満足を押へておくと、自分勝手に文字を書き習うて筆順をあやまつた癖をつけてしまつたりして却つて有害であります。故に子供の要求するものに對しては少くとも筆順だけを正確に教へてもらひたいものと思つて居ります。また文字を教へると同時に發音を正確に教へ

ておもらひしたいものです。二三歳より六七歳までの間は言語發達上最重要な期であつてまた非常に模倣性に富んで居る時であります。故に外國語を學んでも此時分ならば日本語のないうらに教へられるのです。ですから文字を教へると同時に發音を正確に教へてもらひたいと思ふのです。もし此時期に世間の大人が誤つて不正確な發音を聞かせるかまたは大人の正しく云へた詞でも之をきゝかちつて不正確に發音する時は終生矯正すべからざる發音を習得する事になります。たゞ幼稚園の作業の一として文字を教へる事の善し惡しは十分に講すべき事ではありますが、幼兒の自然的慾求にしたがつて請求するものに對しては之を教へる方が反つて弊害がないと認めて居るのであります。(文責記者)